

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：43922

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2022～2023

課題番号：22K20237

研究課題名（和文）保育所実習におけるミドルリーダーとしての主任保育士の指導行動モデルの提案

研究課題名（英文）Instructional Behavior Model for Senior Nursery School Teachers as Middle Leaders in Nursery School Training

研究代表者

島田 弘子（Shimada, Hiroko）

名古屋短期大学・保育科・准教授

研究者番号：80965640

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,400,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究は、保育所実習における主任保育士の指導行動を具体化することを目的とし、研究 1 では、実習指導における主任保育士の指導意識を示す7のカテゴリーが抽出された。研究 2 では、実習指導における主任保育士の役割行動の具体化として、主任保育士は、部分・責任実習後、実習生に担任保育士とは違う視点から総合的な指導する、実習生に担任保育士とは違う視点から総合的な指導する、主任保育士は、実習生の心身の状態を把握するために、出勤時、退勤時には声をかける、主任保育士は、実習指導を担任保育士と協働して行うために、日頃から担任保育士となんでも話せるフラットで同僚性のある関係をつくるという4点を提案する。

研究成果の学術的意義や社会的意義

保育実習指導における実習施設側の指導者としての主任保育士の役割が、担任保育士の指導意識に大きく影響していることが示されたことから、本研究は、次段階としてミドルリーダーとしての主任保育士の指導行動や指針を標準化することに着手した。その結果、保育所実習指導におけるミドルリーダーとしての主任保育士の役割行動として、4つの提案を示すことができた。個々の指導者に委ねられている現状の実習指導の改善に資する資料となる。

研究成果の概要（英文）：This research aims to concretize the instructional behavior of senior nursery school teachers in nursery school training. Accordingly, Study 1 identifies seven categories of instructional awareness in such teachers in nursery school training. Study 2 offers four suggestions for concretizing the role behavior. i) such teachers should provide students with comprehensive instruction from a perspective different from the supervising nursery school teacher after partial and responsibility training. ii) They should provide students with comprehensive instruction from a perspective different from the supervising nursery school teachers. iii) They should speak to students at the beginning and end of the work day to check their physical and mental states. iv) They should build an equal and collegial relationship with the supervising nursery school teacher so that they can talk about anything on a daily basis, thereby facilitating collaboration in the training instruction.

研究分野：保育学

キーワード：保育実習 保育実習指導 実習指導者 ミドルリーダー

1. 研究開始当初の背景

多様なニーズが求められる保育現場において、実習生を受け入れることは、その意義こそ理解できても負担に感じる現状は否定できない。自身の保育実践を提供し、実習生を指導する担任保育士の実習指導への困難感の調査(2022)からは、受け入れた実習生の実習態度に変化がなかったという感覚から、自分の能力不足を感じたり、保育への自信を喪失させたりする事例が見られた。2020年9月「保育の現場・職業の魅力向上に関する報告書」(厚生労働省)の中の「保育実習の改善に向けた共通研修の開始」として、実習指導における質の差を改善し、実習が養成校での指導と相まって効果的になるよう、実習指導の責任者となる保育士への研修推進が明示された。保育実習実施基準(2018)では、実習施設側の実習指導者として主任保育士またはそれに準ずるものが定められたことにより、担任保育士と主任保育士の協働的な実習指導が求められている。

また近年、政府による保育士の処遇改善制度の取り組みの一端としてキャリアアップ研修が推進され、その中で主任保育士に対して、組織の中のミドルリーダーとしての役割、専門性の検討がなされている。実習指導もその一つである。しかし実習施設の保育士には、担任保育士に限らず、担任保育士を指導する側の主任保育士についても実習指導者としての知識やスキルを学ぶ機会ほとんどない。現状において実習施設側の実習指導者とされるミドルリーダーとしての主任保育士の実習指導内容や方法は示されていない。同じ対人援助職である看護師職や介護福祉士職には、実習指導者としての育成制度が構築され制度化されている。保育士職においても、保育所実習の質を標準化させるために、実習指導者としての根拠のある自信となるような教育を受け、実習を肯定的に受け入れられる仕組みを作ること喫緊の課題と考えられる。

筆者は、これまでの研究において、保育実習指導における担任保育士のための自己評価尺度を開発し、その運用の方法として、主任保育士とのカンファレンスを試行し有用性を検証している(2022)。その中で、主任保育士が担任保育士の指導意識に大きく影響していることが示された。保育実習指導において、主任保育士の役割の明確化が保育実習の質の向上につながると考える。

2. 研究の目的

本研究は、実習指導者育成のアクションリサーチにより、主任保育士の及ぼす担任保育士及び実習生に対する影響を明らかにし、保育所実習におけるミドルリーダーとしての主任保育士の指導行動の提案を目的とする。

3. 研究の方法

(1) 実習指導における主任保育士の指導意識に関する調査(研究)

主任保育士の役割行動の具体化に向けた調査項目を作成するために、主任保育士の実習指導に対する意識を半構造化面接によって調査した。その調査結果を基に、主任保育士の実習指導行動の具体化のための調査項目を作成した。A県3市、各3か所の公立保育所の主任保育士9名を対象に行ったインタビューを逐語化した。そのデータから保育実習における主任保育士の役割について語っている部分を抜き出しコード化した。抜き出したコードの共通点、相違点を考慮してサブカテゴリーを抽出し、さらにそれぞれのサブカテゴリーから主任保育士の保育実習指導の役割として必要な力やスキルについてカテゴリーを抽出した。保育を専門とする大学教員らで繰り返し検討を重ね、分析の妥当性を高めた。

(2) 実習指導における主任保育士の役割行動の検討(研究)

研究 を基に選出した「保育実習指導における主任保育士の役割」51項目を、園長、主任保育士、担任保育士を対象に、実習生受け入れ前・実習生の事前訪問時・実習初日・実習2日目から1週間・実習2週目から最終日前日・最終日・実習生受け入れ後の7区分を時系列とし、4件法(必要である・どちらかと言えば必要である・どちらかと言えば必要ない・必要ない)で回答を得た。収集したデータを基に職階による「主任保育における実習指導内容」の必要度の分散分析を行った。

4. 研究成果

(1) 研究

分析の結果、実習指導における主任保育士の役割意識を示す61コードから19のカテゴリーと7のカテゴリーが抽出された(表1)。「担任保育士との関係や実習の大変さを理解し、実習生の心身の状態を気遣う」「実習生の良いところを見つけてほめる」の2つのサブカテゴリーから【実習生を理解し精神的に支える】というカテゴリーが抽出された。「担任とは違う視点から指導する」「保育のhow toではない助言をする」「子ども理解と保育を繋げる視点で助言する」「子どもと関わる以外の保育者の仕事を伝える」の4つのサブカテゴリーから【保育の本質を指導する】というカテゴリーが抽出された。「実習生に保育者のやりがいを伝える」「実習生に保育の楽しさを伝える」という2つのサブカテゴリーからは、【保育職への誇りを持ってやりがいを伝える】

というカテゴリーが抽出され、「担任保育士の話を聞いて指導状況を共有する」「担任保育士の普通の保育を認め、実習指導に対する緊張感を和らげる」「担任保育士の負担感を理解し、担任保育士の指導を評価する」「実習指導の課題解決に向けて対話をする」という4つのサブカテゴリーからは、【積極的な対話で担任保育士を支える】というカテゴリーが抽出された。さらに、「実習指導の助言や実習記録のコメントなどから担任の指導力を見極める」「実習生の成長から担任保育士の指導力に気付く」の2つのサブカテゴリーから、【担任保育士の指導力を見極める】というカテゴリーが抽出された。「担任の実習指導から担任の保育観を理解する」「担任に保育への向上心に繋がる声掛けをする」「普通の担任保育士の保育を再評価する」という3つのサブカテゴリーから構成され、【担任保育士の保育観を理解する】というカテゴリーが抽出された。「受け入れ時だけでなく普段から風通しの良い保育者同士の関係を作る」「保育者としてモデルとなる意識づけをする」の2つのサブカテゴリーから構成され、【保育者全員の実習指導意識を喚起する】というカテゴリーが抽出された。

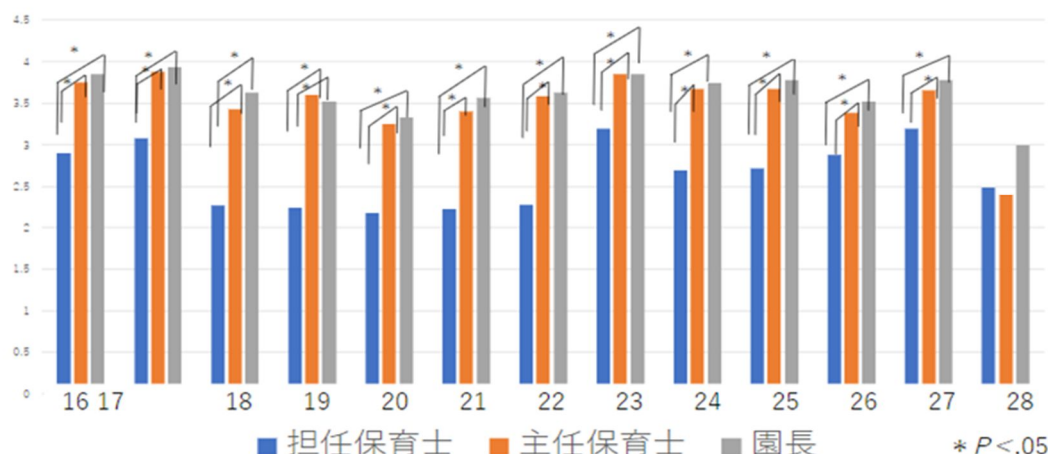
これらのカテゴリーを基に、実習生を受け入れる前から受け入れ最終日までを時系列にした保育実習指導における主任保育士の役割行動51項目を作成した。

表2 保育実習指導における主任保育士の役割行動51項目

区分	番号	実習指導における主任保育士の役割行動
受け入れ前	1	園全体で実習生を受け入れる体制づくりのために、(主任が)実習指導の担任保育士の決定などを、園長と検討する
	2	(主任が)実習指導を担任保育士と共に行えるようにするために、担任保育士と、なんでも話せるフラットな関係を作る
	3	実習生を受け入れるにあたり、全保育士に、(主任が)保育士としてのモデルとなるよう改めて伝える
	4	園全体で実習生を受け入れる意識が持てるように、全保育士に、(主任が)実習の概要や実習生の情報を伝える
	5	実習内容を共通理解するために、(主任が)担任保育士と確認の時間をもつ
訪問時	6	実習の見通しが持てるように、実習生に、(主任が)実習中の保育の予定を伝える
	7	実習生としての自覚が持てるように、実習生に、(主任が)注意事項を伝える
	8	実習生を理解するために、実習生に、希望クラスも含み、どんな課題をもって実習に臨むのかを(主任が)確認する
	9	実習生に、(主任が)事前に配属クラスや担任保育士を伝えることで、実習生が安心して実習に取り組めるようにする
	10	実習生が、実習の見通しが持てるように、(主任が)園内を案内し、園の概要を伝える
実習初日	11	他の保育士に、(主任である自分が)実習生を紹介することで、園全体で実習生を受け入れる意識づけをする
	12	保護者に、実習生受け入れ期間や配属クラスなどを周知することで、(主任が)実習生を受け入れることへの理解を促す
	13	実習がスムーズに行えるように、(主任が)担任保育士と実習指導計画(日程)について確認する
	14	指導時間の確保が出来ないにないように、(主任が)担任保育士と実習生が振り返りをする時間を具体的に提案する
	15	帰り際、(主任が)実習生に今日はどうだったかなどを声掛けし、緊張をほくす
2日目から1週間	16	実習生に安心して実習できる環境を作るために、(主任が)実習生の不安感や緊張感を取り除くような声をかける
	17	実習生の健康状態を把握するために、(主任が)実習生の出勤時、実習生と挨拶を交わす
	18	実習生の実習への意欲を引き出すために、(主任が)毎日の課題を確認し、助言したり励ましたりする
	19	実習生がより多くの指導が受けられるようにするために、(主任が)実習生を直接指導し保育中の実習生の様子を見に行き
	20	実習生が、保育の楽しさを感じられるように、(主任が)楽しい保育実践が経験できる機会を作る
	21	実習生が保育への理解を深められるように、(主任が)担任保育士の保育を見せながら具体的な場面で援助や配慮について指導する
	22	実習生に、わかりやすいように、(主任が)具体的な場面で子ども理解をする視点を伝えている
	23	担任保育士指導内容の適切さを判断するために、(主任が)指導内容を記録から読み取る
	24	実習生が、不安感を取り除くようにするために、(主任が)帰り際に一日どうだったか思ったことや感じたこと等の話を聞く
	25	実習生の子どもへの関わり方などの理解を促すために、(主任が)実習記録の内容を確認しコメントするだけでなく、実習生と直接、話すこ
	26	(主任が)その後の実習指導に活かすために、実習生の自己評価や実習記録等から実習指導内容を見直す
	27	園長に、(主任が)実習生の状況を理解してもらうために実習の様子を報告する
	28	その後の実習指導に活かすために、養成校の教員の訪問指導の際に、(主任が)養成校の教員との面談をする
2週間から最終日前日	29	実習生の不安感や緊張感を取り除くために、(主任が)帰り際に一日どうだったか思ったことや感じたこと等の話を聞く
	30	実習生の不安感や緊張感を取り除くために、(主任が)適宜声をかける
	31	(主任が)実習生の課題を意識するために、実習中の実習生の様子を見に行き
	32	実習生が、担任保育士とのコミュニケーションが取れているか把握するために、(主任が)必要に応じて担任保育士に話をする
	33	実習生が、担任保育士とのコミュニケーションが取れているか把握するために、(主任が)必要に応じて実習生に話をする
	34	担任保育士の実習指導の負担感を軽減するために、(主任が)指導時間を保障する
	35	担任保育士の精神的な支えとなるようにするために、(主任が)担任保育士の指導の様子を見て声をかける
	36	実習生に保育の楽しさを伝えるために、(主任が)これまでの保育実践事例を交えて話す
	37	実習生が、意欲的に学ぶことができるようにするために、(主任が)子どもへの良い関わりや行動について具体的に伝える
	38	実習生の成長を確認し適正な実習指導を行うために、(主任が)実習記録から実習生の学びを読み取る
	39	部分実習(責任実習)後、担任保育士とは違う視点から指導するために、(主任が)実習生の振り返りから総合的な指導する
	40	園長に、実習生の状況を理解してもらうために、(主任が)実習の様子を報告する
	41	実習生に、援助や配慮への理解を促すために(主任が)担任保育士の保育を見せながら具体的な場面で指導する
	42	実習生に、子ども理解と担任保育士の保育の意図を繋げる視点で指導するために、(主任が)担任保育士の保育の意味付けで話す
	43	担任保育士と協働して指導するために、(主任が)担任保育士からの指導内容を記録から読み取り、指導内容を把握する
	44	実習生が安心して実習できているか把握するために、実習生に帰り際に、(主任が)一日どうだったか思ったことや感じたこと等の話を聞く
	45	実習生に、子どもへの関わり方などわかりやすく伝えるために、(主任が)実習記録の内容を確認しコメントするだけでなく、実習生と直接話
日終最	46	実習生が、実習の自己課題についてどうだったか確認するために(主任が)、実習生に実習の振り返りを行う時間をもつ
	47	実習生に保育のやりがいや楽しさを伝えるために、(主任が)わかりやすい事例や体験談を話す
受け入れ後	48	担任保育士自身の保育の向上に繋げるために、(主任が)担任保育士の実習指導を労い、実習指導の振り返りを行う
	49	今後、よりよい実習になるように、(主任が)実習生受け入れについて会議などで振り返りを行う
	50	適正な評価をするために、実習生の評価について(主任が)担任保育士と話し合う
	51	適正な評価をするために、実習生の評価について(主任が)園長と話し合う

「主任保育における実習指導内容」の必要度が、職階によって差があるかを検証するため、2 要因の分散分析の結果、職階要因の主効果 ($F(2, 152) = 34.9, P < .001$)、実習指導内容項目要因の主効果 ($F(2, 152) = 34.9, P < .001$)、交互作用が有意 ($F(100, 7600) = 5.05, P < .001$) であった。職階要因の各水準における単純主効果の検定を行ったところ、担任保育士と主任保育士、担任保育士と園長には有意差が認められ ($F(2, 152) = 34.9, P < .001$)、主任保育士と園長には認められなかった。その後の Bonferroni の多重比較の結果、担任保育士と主任保育士・園長に差がある項目が 34 項目、担任と園長に差がある項目が 4 項目あった。時系列 7 区分のうち「実習 2 日目から 1 週間」の必要度の差異を図 - 1 に示す。

図-1 主任保育士の役割の必要度【実習 2 日目から 1 週間】 職階間の差



16	実習生に安心して実習できる環境を作るために、(主任が) 実習生の不安感や緊張感を取り除くような声をかける
17	実習生の健康状態を把握するために、(主任が) 実習生の出勤時、実習生と挨拶を交わす
18	実習生の実習への意欲を引き出すために、(主任が) 毎日の課題を確認し、助言したり励ましたりする
19	実習生がより多くの指導が受けられるようにするために、(主任が) 実習生を直接指導し保育中の実習生の様子を見に行く
20	実習生が、保育の楽しさを感じられるように、(主任が) 楽しい保育実践が経験できる機会を作る
21	実習生が保育への理解を深められるように、(主任が) 担任保育士の保育を見せながら具体的な場面で援助や配慮について指導する
22	実習生に、わかりやすいように、(主任が) 具体的な場面で子ども理解をする視点を伝える
23	担任保育士指導内容の適切さを判断するために、(主任が) 指導内容を記録から読み取る
24	実習生が、不安感を取り除くようにするために、(主任が) 帰り際に一日どうだったか思ったことや感じたこと等の話を聞く
25	実習生の子どもへの関わり方などの理解を促すために、(主任が) 実習記録の内容を確認しコメントするだけでなく、実習生と直接、話すことでわかりやすく伝える。
26	(主任が) その後の実習指導に活かすために、実習生の自己評価や実習記録等から実習指導内容を見直す
27	園長に、(主任が) 実習生の状況を理解してもらうために実習の様子を報告する

本研究において、重要度が高くかつ現時点で実現可能性が高いと考えられる主任保育士の役割行動を以下の 4 点提案する。いずれも主任保育士を組織におけるミドルリーダーという位置付けが通底していると考えらる。

・主任保育士は、部分・責任実習後、実習生に担任保育士とは違う視点から総合的な指導する
また、主任保育士自身が、保育の場面から保育することの楽しさや、保育を語る保育者たちの中に入っている姿をみせる、子どもと関わる以外の仕事について具体的に知らせる等を通して、保育の誇りともいえるやりがい伝えていくという意識が必要なことが研究 から示された。研究 2 の調査では、実習指導における主任保育士の役割行動の必要度の平均値が最も高かった項目として、担任保育士、主任保育士、園長の三者とも「39. 部分実習 (責任実習) 後、担任保育士とは違う視点から指導するために、(主任が) 実習生の振り返りから総合的な指導をする」が挙げられた。主任保育士の実習指導として、部分実習 (責任実習) 後の振り返りの際の指導を重視していることが明らかになった。

・主任保育士は、実習記録の読み取りから、実習生の成長や担任保育士の指導の適正さを確認する

保育実習を実習生側の視点で考えた時に、佐野ら (2021) の研究によると、実習生の保育実習に対する不安要因の上位は、「実習記録」、「責任実習・部分実習」と述べている。責任実習・部分実習と合わせて、実習生にとって不安だけに終わることなく、適正な指導になるよう主任保育士の役割としての指導が望まれる。

主任保育士は、実習生の心身の状態を把握するために、出勤時、退勤時には声をかける。実習生を園全体で受け入れることで、実習生が安心して学ぶことができる環境を整えることが必要と考えているのだろう。主任保育士の役割行動として、実習生の心身の状態を把握し安心して学ぶことができるように声をかけるといった、対話を心がけることが必要と考える。

主任保育士は、実習指導を担当保育士と協働して行うために、日頃から担任保育士となんでも話せるフラットで同僚性のある関係をつくる。

実習生を受け入れる担任保育士は、実習生にとって一番近い存在になる。直接指導することから担任保育士の保育観が実習生に大きく影響する。また、担任保育士が、少しでも前向きな姿勢で実習指導ができるように担任保育士の保育への向上心に繋がるような声をかけることにより、担任保育士の実習指導へのモチベーションを高めることができる。主任保育士は、実習生を受け入れる時だけでなく、日頃から保育を語り合う仲間としての同僚性を高め、例えば園内研修の充実や個々の保育者のキャリアパスを見据え導く力が求められるだろう。

以上、保育所における実習指導者の役割行動として提案する。

引用文献

- (1) 鳥田弘子・鈴木裕子 (2022) 保育所実習指導者のための自己評価尺度の開発、保育学研究、第 60 巻第 1 号、111
- (2) 厚生労働省 (2020) 保育の現場・職業の魅力向上に関する報告書、12.
- (3) 鳥田弘子 (2022) 保育所実習指導者のための自己評価尺度の有用性の検証、愛知教育大学教職キャリアセンター紀要 第 7 号、57-64.
- (4) 厚生労働省 (2018) 指定保育士養成施設の指定及び運営の基準についての一部改正について.
- (5) 佐野友恵・大和晴行 鶴宏史 宇野里砂 小尾麻希子 久米裕紀子 中井光司 西本望 大槻伸子 白井三千代 (2021) はじめての保育実習を控えた学生の不安と期待に関する研究、武庫川女子大学教育学研究論集第 16 号、25.

5．主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 1件）

1．著者名 鳶田弘子	4．巻 62
2．論文標題 保育所における実習指導者としての主任保育士の役割の具体化	5．発行年 2024年
3．雑誌名 名古屋短期大学紀要	6．最初と最後の頁 17-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計2件（うち招待講演 0件／うち国際学会 0件）

1．発表者名 鳶田弘子 磯村正樹 木田千秋
2．発表標題 保育実習指導における実習指導者としての主任保育士の役割意識と課題
3．学会等名 日本保育学会
4．発表年 2023年

1．発表者名 鳶田弘子 磯村正樹
2．発表標題 保育所における保育実習指導者としての主任保育士の役割行動の提案
3．学会等名 日本乳幼児教育学会
4．発表年 2023年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------